COLLABORATION ROAD

コラボロード

～協働（きょうどう）への道～

第４次三原市長期総合計画について委員長・一般審議員にお聞きしました。

２月の「やっさもっさ」でお伝えしたように、現在三原市では第４次長期総合計画を策定しており、一般募集で審議会委員の２名が小論文提出の後、決定しました。

そこで、（社）三原青年会議所伊達護副理事長は策定審議会委員長の若井具宜氏（広島県立大教授）をお招きし、委員長の役割・第４次三原市長期総合計画のポイント等をお聞きしました。また、策定審議会委員に選ばれた勝原奎介さん（西宮町・会社員）島村けい子さん（沼田東町・主婦）の２名をお招きし、応募した動機・意気込み・審議会の雰囲気等をお聞きした上で、なぜ市民の行政参加が必要なのかを共に考えてみました。

委員長にインタビュー

■あなたたちが三原市を経営しているのですよ■

伊達　まず、委員長の役割をお聞かせ頂けますか。

若井　市民の方々がどのようなまちを創って行くのかが基本ですので、私は集まった意見を取りまとめる事が役目だと思っています。

「公募された2名の方々のご意見を大切にしたいですね。」

伊達　私達（社）三原青年会議所では先日、第４次三原市長期総合計画に関する街頭アンケートを行いましたが、約９割の市民が計画を知らないという残念な結果となりました。しかしその中で、機会があれば行政参加をしてみたいという積極派も多数おられたのですが、委員長は市民の行政参加についてどう思われますか。

若井　市民の生の声を自ら進んで伝えたいという意識は大切ですね。先日の第１回策定審議会では、公募によって参加された２名は積極的に想いを述べられておりましたが、委員長としてその意見を十分に加味し、策定審議会を進めてゆきたいと思っています。

例えば、広島市では一般募集したわけではありませんが、70数名の委員が二つの専門部会（経済・地域）に分かれて市民が行政参加しています。この度、三原市が一般公募で市民の行政参加に踏み切ったことは、非常に評価できますし、長期総合計画だけでなく様々な行政施策に市民が参加し易いシステムづくりをし、市民と行政が一体となった市民参加型行政を展開して行ってほしいですね。市民側も本来は税金を納め、市を経営しているという意識を持っていなければいけないのに、三原市だけでなく全国的に意識が薄いように思います。

伊達　第４次三原市長期総合計画でのポイントをどの辺りにおかれていますか？

若井　１０年先を見越した計画をたてる事は大変難しいことではありますが、今まで経済を支えてきたものは製造業・商業でしたよね。いずれも大切な業種ですが、これからの時代はサービス業が経済を引っ張ってゆくと思っています。三原市は保健福祉大学を中心に保健福祉学園都市を目指しておりますので、福祉と関連したサービス業を中心にまちづくりを推進してゆけばと考えております。

一般審議員にインタビュー

■私達の意気込みを聞いて!!■

伊達　お二人にお伺いしますが、どこで一般募集している事をお知りになりましたか？

島村　広報みはらを見ていて知りました。他の市では介護保険導入の決定時には、市民の意見を聞いている市もありますが、三原市で初めて市民の意見を聞いていただけるチャンスだと思い応募しました。

勝原　わたしは新聞を見て知りました。三原市が長期総合計画を策定している事は知っていましたが、なかなか知る機会がないので、どの様な内容なのか詳しくは知りませんでした。

伊達　私たちも２月のやっさもっさで長期総合計画に関して街頭アンケートを行い掲載させていただきましたが、約９割の方が知らないという結果となりました。お二人が応募しようと思った動機をお聞かせ下さい。

島村　私は三原がとにかく元気で市民が幸せになれるまちになってほしいと思い応募しました。また、私たち主婦の間でも話題になっていますが、三原市は全国より早く高齢化が進んでおり、もう少し活気のあるまちにならないとこのままではどうなって行くのかなという、危機感を感じ応募しました。

「三原には活気がないですよね。」

勝原　今から10年程前ですが、私が現役で勤めていた頃に三原市の企業が参加してまちづくりを考える「三原ヒューマンネットワーク」が結成され、これを通じてオータムメッセ・さつきまつりなどに携わっており、その頃からまちづくりについて仲間と話しをしておりました。この度新聞に都市計画という見出しでなく、まちづくりとありましたので、これは市民が参加して色々な意見が言える場を行政が作ってくれたのだと思い応募しました。

伊達　今回公募をおこなった事は三原市にとって、大きく一歩踏み出した事ではないかと思いますが、応募の方法が小論文でしたよね。島村さんは主婦の立場として、また、勝原さんは組織に属されておられた立場からどのような観点で小論文を書かれましたか。

島村　私はボランティアとサークル活動に参加しているのですが、個人が自己実現できる場がもっと広がったら良いのではと感じます。定年退職された方が、生きがい・もっと活躍できる場、例えばボランティア活動などでお互いが助け合える場ができたら高齢者が増えても何とかやってゆけるのではないかと思います。その辺りを行政が全て段取りするのではなく、市民側からの声を積極的に受け入れるシステムが必要ではないのかと考え作成しました。

勝原　まず三原市は活性化していないし、若者も少ないでしょう。活性化する為には市ばかりに要求するのではなく、まちの為に市民がどの様な事をすればよいかという所が主体になるのではと作成しました。

伊達　ポイントとしては行政の受け皿作り、それに対して私達市民が声を上げるというその２点になると思いますね。しかし、行政側が受け皿を作っても市民の誰も参加しないという事になると困りますので、慎重に一緒に盛り上げてゆければと思いますね。

意見を反映して頂けるのか不安です。

伊達　現在策定審議会は一回開催されましたが雰囲気はいかがですか。また、策定審議会でどのような意見を述べたいと考えておられますか。

島村　たくさん資料を頂くのですが、当日に資料を配られて内容についてどう思われますかと言われても難しく、もう少し事前に資料を頂ければ検討できたと残念に思いました。なかなか難しいですね。第１回の策定審議会で第３次長期総合計画を見せて頂きました。確かに素晴らしい事がたくさん書いてありましたが、あまりにいい事がたくさんありすぎて、結局三原市がどういう方向に進んでゆくのかという事がよく解かりませんでした。また、その計画を全て遂行してゆくには、財政の関係もありますし今現在、三原市の借入金が約６００億円ですよね。それを考えたらどの案を選ぶか大変だなと感じました。

昨年１２月に長期総合計画に関するアンケートを行いましたよね。お金をかけて市民アンケートを行うのであれば、広報に掲載して頂きたいと発言しましたが、時間がないという事で実施していただけませんでした。

勝原　策定審議会そのものは、皆で意見が言い合える場となればいいと思います。一回目はアンケートの中身の検討を行いましたが、先ほど島村さんもおっしゃったように、当日その場で資料を頂いたこともあり、アンケート自体が具体的な内容でない表現でしたから、案外、難しくて答えづらかったように思います。

伊達　今回一般公募が初めてということもありますが、２名という人数についてはどう思いますか？

勝原　少ないですね。

島村　少ないと思いますけど専門部会みたいなものが、いくつかあるのではないでしょうか。そういう場にも市民が参加できる様になれば良いのではないかと思っています。

伊達　これからもどんどんそういう門戸を広げて頂ければいいですね。今回は初めての市民参加ということで行政側にも戸惑いはあったと思いますが、市民の代表としてご参加されているという点でお感じになった事はございますか？

島村　自分ばっかり意気込んで空回りしているような気がします。本当に私達の意見を反映して頂けるのか、少し不安です。

勝原　質問や要望があっても、時間がないから出来ないという答えが多かったように思います。不備な点はこれから整えてゆく事がこれからの課題ですね。

行政と市民との意見交換が大切では!!

伊達　お二人は今の三原市をどのように思われていますか。また、活性化してゆくポイントはどこだと思われますか？

島村　生き生きするまちにするには、市民が行政に要望ばかりするのではなく、大変ですけどまちづくりに参加してみれば、人に元気を与えられるし人から元気をもらえるし、そういう面でお互いに助け合ってゆけば元気な三原市になると思います。魅力あるまちになれば、他のまちから人がどんどん集まってくるでしょうし、さらに活性化してゆくのではないかと思います。

勝原　先ほど言ったように三原市は活性化してないですよね。これは市民の皆さんも認める所だと思います。第３次長期総合計画にある「ダイナミック三原」～国際化時代の新たな総合結節都市～などは活力ある謳い文句だと思います。例えば小論文にも書きましたが、今は講習会などをして伝統を重んじたやっさ踊りを推進していますが、そればかりではなくてもいいのではないかと思います。伝統のやっさ踊りを蔑ろにしてはいけないと思いますが、北海道のよさこいソーラン・高知のよさこい祭りなどは全国から若者が集まり地域と一体になってＰＲをしていますね。三原を全国に発信できる何かを造っていくことも必要ではないのでしょうか。

伊達　今お二人が言われた事がこれからのまちづくりのキーワードになってくるのでしょうね。これからは、「行政まかせだけではだめだ」というのがひしひしと伝わってきました。

勝原　私はまちづくりというのは人づくりだと思っています。行政はハード部分を作りますが、それに注入するソフトな部分は、民間の活力を期待したいですね。まずそのためには人づくりですね。そして行政と住民が交じり合って意見交換してゆかないと今までと同じ繰り返しになってしまいかねません。

伊達　そう言った意味でも今回の一般公募というのは意味があるのだと思います。私達（社）三原青年会議所では『協働のまちづくり』という大きなテーマがありますので、今後もやっさやイベントなどを通じて、市民の皆さんと一緒に考えてゆきたいと計画しております。また、長期総合計画策定の流れを追って、それを市民に問い掛けて運動が湧き上がる活動をしてゆきたいと思います。本日はどうも有難うございました。

「高齢化問題は私たち主婦の間でも話題になっていますよ。」

今回の取材を経て、委員長・策定審議会委員の２名のまちづくりに対する意気込みが直球で伝わってきました。これからの策定審議会の行方に注目してみましょう。

Collaboration Road

21世紀を担う三原っ子のために！

―わしらがやらにゃあどうすんにゃあ！―

２月例会リポート　担当：教育青少年委員会

去る２月19日（土）、教育青少年委員会（平野裕輔委員長）担当の２月例会において、21世紀を担う健全で頼もしい三原っ子を育んでゆく為には、何が必要なのかを考えてみました。以下はその主な内容です。

いま、子どもたちが危ない！

わたしたちの日常、ＴＶや新聞で、教育の事が扱われない日はないと言っても過言ではありません。青少年犯罪の低年齢化や、これまでに考えられなかった残虐な犯罪、それらは日を追うごとにエスカレートしているようにさえ見えます。その原因の一つに、現代の子どもたちを取り巻く、地域・学校・家庭それぞれの教育力が低下しつつある事もあるとは思いますが、果たして原因はそれだけなのでしょうか？

一昔前は、学校・地域・家庭の３者が互いに連携しあいながらその三角形の輪の中で子供たちが育まれていました。親が放任主義であっても、ある意味で近所の人や学校の先生が常に三角形内の子どもの教育に参加していました。そんな昔と違い、いまや崩れつつある三角形の中で、健全な子どもを育む事は不可能なのでは？と考えさせられてしまいます。

ＰＴＡからＰＴＣＡ、教育から共育へ。

未来を担う「宝」である子どもたちの教育に対して、何かを始めなければならないと理解してはいても、大きな意味での教育への参加、実際に行動に移す事に関しては、きっかけが見つけにくく非常に難しい事だと思えます。

家庭と学校を繋ぐパイプ…ＰＴＡ（ペアレンツ・ティーチャー・アソシエイション）は本来、親と教師の事を意味します。しかし、このパイプでは成果があげにくい事がたくさんあります。そこで、ＰＴＣＡ=親と教師に地域などのコミュニティを加えた三者が協力・連携し、みんなで子どもたちを健全に育んでゆくという考え方･･･すなわち、「教育」から「共育」へ。これからは、みんなで共に育んでゆく事が大切なのではないでしょうか？子どもたちは決して教師と親だけが育てるわけではありません。

地域の先生づくり運動

教育改革が叫ばれる中「開かれた学校づくり」の一環として、ついに平成14年から「総合学習の時間」と「学校完全週５日制」がスタートする事になりました。子どもが家で過ごす時間が増え、「知育」重視の教育に或る意味の終止符が打たれる事になります。学校のスタイルが変わってきている今、受け入れ側の地域や家庭はそのままで良いはずがありません。親として、地域の大人として、子どもたちの教育に、まず関心を持つ事が重要です。

近頃盛んに耳にする言葉に「地域の先生」という言葉があります。地域の先生とは先に生まれた者の意味であり、決して教員免許を持った人の意味ではありません。魚屋さんや大工さん、主婦といった人たちが講義をするというような、教員免許よりも実地ならではの、実のあるお話…「知」と言うよりは「智」、すなわち「生きる力」を学ばせる事も、子どもの将来に、本当にためになるのではないでしょうか？

子どもたちは地域の未来そのもの

歴史は戦国武将等のヒーローが創ったものではなく、各時代においての家族が連続して、現代に至ってきたものだと思います。みはらのまちがこれだけのまちになったのも、このまちを、家族を愛した多くの人たちによる、家族の連続の結果なのです。そして、みはらの未来は、このまちに生まれ育った者達が創ってゆく…。子育ては未来のまちづくりとも言えるはずです。

21世紀を担う三原っ子のために

（社）三原青年会議所では、「わんぱく相撲三原場所」等、さまざまな事業を通して、厳しい環境に打ち勝つための「生きる力」や「礼節」「秩序」といった事を子どもに学んでもらい、健全で頼もしい「三原っ子」育成の一助となるよう、地域の皆様や家族の方々と一緒になって努力してゆきたいと考えております。

これからの時代は、「心の時代」だと言われています。心の時代にふさわしい「心の教育」の実現は、まず我々大人が共に協力し合う事から始まるのではないでしょうか。このまちの歴史、この土地を愛している「地域の人」、「親」、そして「学校」が、互いに協力・連携しあって、このまちの子どもの事を考えてゆく事ができれば、そこに、21世紀を担う、頼もしい三原っ子が育ってゆくのではないでしょうか？

くし焼き 狄
(有)土居写場
(有)童夢
ドコモショップ三原駅前店
(株)鳥徳
(有)中川書店
中間醸造(株)
難波産婦人科
(株)日本旅行三原支店
(株)博善社
(株)原アルミ建材
半さん
桧山幸三税理士事務所
スタンドひらた
ファミリー歯科診療所
藤井建設(株)
フジ・エンタープライズ(有)
フジグラン三原
ベスト電器三原店FC白須電機(株)
ホテルTODAI
瀬戸内魚礁本陣
(株)まじま製麺
松井商事(有)
松尾社会保険労務士
(株)松田鐵店
ジュエリーサロンまつば
(有)マミー化粧品店
おしゃれサロンマルゼン
(株)ミッキー堂
(有)みどり書店
ミナミゴルフ(有)
三原カンツリークラブ
三原金融協会
(株)三原国際ホテル
三原重量(有)
(株)三原スーパー
(有)三原ターミナルホテル
三原塗装(株)
ホンダプリモ三原皆実
三好印刷(株)
盛影塗装(株)
保道建設(株)
(株)やっさ石油
ヤマサ建設(株)
(医)山田脳神経外科
マイエッグヤマナ
山本衣料(株)
(有)山本住設
スナック優香
吉井ビジュアート(有)
(寝)・(生)(活)(館)よしなが
夜船司法書士事務所
(株)読宣備後三原営業所
ブライダルサロン(株)ラ・ベルフィーユ
下町の居酒屋六文銭
渡辺土地建物(有)
買・売・質 わたべ

(株)天満屋三原店
(有)東亜不動産
(有)ときわ薬局
とりごえ食品(株)
中川広告(中川の義さん)
(株)中原洋服店
中村電工(株)
(株)ナンバ洋服店
皆実町(有)灰谷鉄工所
(有)花岡商会
(有)ハリカ三原店
ビジネス旅館松野
平木鶏卵
広島電気工事(株)
(株)富久屋
(有)藤井鋼産
富士金属工業(株)
フラワーショップふじもと
(株)ベルファニー江南店
本郷建材工業(株)
(有)本田石材工業
益谷建設(株)
松浦生花店
(有)松田商事
(有)松野商店
(株)マネージメント・ブレインズ
スナックマリア
丸仁建設(株)
三和(株)
みどり幼稚園
皆実みどり幼稚園
(株)三原給食センター
三原グランドパレス
(株)三原シティーホテル
食協チェーン三原食糧企業組合
(有)三原スバル販売
エム・キャット三原テレビ
(株)三原美装社
三宅石材店
宗廣歯科クリニック
(株)もりみよう洋服店
ヤスミチ美容室
三原の味です名物です 献上銘菓 ヤッサ饅頭 ヤッサ饅頭本舗
(株)ユアーズ三原店
(株)よしいけ
(株)吉岡建具製作所
由水酒販(株)
読売新聞三原東I・C
ラウンジOB
理研設計(株)
和食処登喜将
(有)渡辺商会

本誌〃やっさもっさ〃は、㈳三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

iSグループ
Ⓐ赤谷木材(株)
秋吉酒店
あまの歯科・矯正歯科クリニック
スナック石垣
innocent
(有)上田製版印刷所
(株)上野建材センター
宇野税理士事務所
(株)エヌワイティグループ
(有)エルサ
大下建設(株)
旭菊水 大藤酒造(株)
大成土地家屋調査士事務所
(株)オギロパン
(有)お茶の平野園
ピアノラウンジ 帯
(有)笠下工務店
(株)勝村商店
レストランかねしょう
(有)カメラのファースト
(株)ガルバ興業
関西薬品(株)
完山商店
キャメル
共立電機産業(株)
(株)キヨーデン
芸備燃料市内4S・S
(医)仁康会 小泉病院
晃栄不動産(有)
(医)里仁会 興生総合病院
小島洋紙(株)
クレール福屋三原店
(株)サービスセンター
作田洋紙(株)
佐竹工業(株)
(株)澤井製作所
三陽環境管理(株)
山陽建設(株)
山陽製粉(株)
(株)シゲモリ本店
柴田産婦人科
ジャスコ三原ショッピングセンター
(株)正田文華堂
新宅建設(株)
砂田歯科医院
(株)セイム
瀬戸内不動産(有)
第一歯科医院
ラ・マンチャ
ダイフク興産(株)
(有)高山ペットショップ
田中運輸(株)
田辺製鼓工場
(有)多森薬局
高野山真言宗亀甲山多陀寺
(株)中国新聞サービスセンター
(学)伊達学園月見幼稚園
つぼみ

(株)赤石硝子建材
安芸典礼(有)
浅田公認会計士事務所
居酒屋あやか
糸崎木材(株)
服地の今井
上田鉄工(株)
(株)ウツミ
NRK保険事務所(有)
(有)ゑびすや
桜南食品(株)
大東印刷(株)
やき肉 鳳
岡本電機(株)三原営業所
奥延食品(株)
小野税理士事務所
カー・サザン
勝原不動産
勝村木材(株)
カネダ漢方薬品(株)
かもめしんきん
関西通商(株)
神本ワークビュー
スナックギフト
キリンビール共栄商事(有)
共和不動産(株)
グラフィック機材(株)
藝陽日日新聞社
広愛産業(株)
河城石材店
(株)コグマヤ
(株)コパックス
(合)小松家具店
(有)崎本不動産
(有)さこだモータース
(株)サツキ工業
三基工業(株)
中国新聞広告代理店三洋企画
山陽コカコーラセールス(株)本郷営業所
(株)シーズ
(株)システムイン国際
柴原電機(株)
(株)住創
順勝寺
如水館中学高等学校
(株)鈴木
(株)スミダ
誠和工業(株)
ソナリア&ベッド館
(株)大建組
(有)大日ヘルスショップ
(有)田尾石油店
(有)多田電気工事
(株)田中組三原支店
(株)タニグチ
Snack&Bar CHIKIYAN
(有)中央地所
(有)チルダ
リカーランド つきやま
(有)鶴田電設コンサルタント